

『グローバル教育』編集規定

1. 本誌は、日本グローバル教育学会の機関誌であり、原則として年1回発行する。
 2. 本誌は、グローバル教育に関する研究論文、調査報告、実践研究ノート、研究ノート、海外情報、書評・新刊紹介等を掲載する。それぞれの内容については以下の通りとする。
 - ①研究論文：グローバル教育の理論に関する研究、活動・実践に関する理論的研究
 - ②調査報告、実践研究ノート、研究ノート：グローバル教育に関する調査報告、実践報告、事例研究など。
 - ③海外情報：グローバル教育に関する海外の情報など
 - ④書評・新刊紹介：会員諸氏の出版物、報告書などの書評・著書紹介
 3. 掲載の可否は、2名以上の審査員の査読に基づき、編集委員会において審議し決定する。なお、編集委員会が必要と認めたときは、学会外部に査読を委嘱することがある。
 4. 編集委員会は、掲載予定の原稿について内容の再考や変更を求めることができる。その際の採否は改めて編集委員会で審議して決定する。
 5. 本誌に掲載の研究論文等の原稿（デジタルデータ）は、原則として返却しない。
 6. 執筆者による校正は初校のみとする。その際、修正は原則として認めない。
- 付則1 本規定は、2021年9月1日より施行する。

『グローバル教育』投稿規定

1. 論文を投稿できる者は、日本グローバル教育学会の会員でなければならない（投稿年度までの会費を納めていること）。ただし、編集委員会が依頼する場合はこの限りではない。
2. 投稿する原稿は、グローバル教育に関するもので、未発表のものに限る。ただし、口頭発表資料はこの限りではない。また、研究倫理に則り、他学会などとの二重投稿、捏造、改竄、盗用、自己盗用などの研究不正は一切認めない。投稿を取り下げる場合は、編集委員会に速やかに連絡するものとする。
3. 投稿する論文における個人情報については、執筆者の責任において、個人情報保護法等の法令に基づき、適正に取り扱うものとする。
4. 論文などが掲載された場合、学会誌刊行後、1年内はウェブサイトなどの電子媒体に公開することを控えることを了承して、投稿するものとする。
5. 同一人物による同号への複数投稿は認めない。
6. 投稿論文は、12月10日までにPDF形式で添付ファイルにて提出する（メール添付可）。なお、掲載が決まった際は、完全原稿のデジタルデータを再度提出するものとする。投稿の際には、邦文表題及び英文表題、執筆者名（ふりがな、英語表記）、所属機関・職名、投稿区分、連絡先（郵便番号・住所・氏名、電話番号、メールアドレスなど）を記した別文書のデジタルデータを投稿原稿と共に添付すること。
7. 論文本体には、氏名・所属は記入せず、投稿区分と題名のみとすること。

8. 編集委員会事務局の住所等は下記のとおりである。

〒192-0395 東京都八王子市大塚 359 番地 帝京大学教育学部 中山京子研究室気付

日本グローバル教育学会 学会誌編集委員会事務局

電話：042-678-3583 送信先：knakayam@main.teikyo-u.ac.jp

*メール件名は「学会誌グローバル教育投稿（名前）」としてください。

付則 本規定は、2021 年 9 月 1 日より改正する

執筆要項

- ・ 原稿は、A4 判横書きで 40 字×36 行(1440 字)を 1 頁とし、ワープロ原稿、ページ番号付きにする。
- ・ 研究論文は 14 ページ以内、調査報告、実践研究ノート、研究ノートは 10 ページ以内、海外情報は 2 ページ以内とする。
- ・ 論文本体の表題スペースは、12 行を取り、書き初めは 13 行目からとする。
- ・ 図表の挿入箇所を本文中にも明記する。なお図表の文字ポイントは最小で 9 ポイントまでとする。
- ・ 論文には英文タイトルを付記し、約 300 語程度の英文サマリーを添付すること（ネイティブチェックを受ける）。
- ・ 注も本文と同じ文字サイズ・書式で収めること。ただし、注は、引用文献を示すものではなく、本文の内容を補足するものに限るものとする。
- ・ 引用文献については、論文末に引用文献リストとしてまとめて示す方式とする。本文中においては、著者名（発行年：引用ページ）の形式で表記し、注番号はつけない。論文末の引用文献リストにおいて、以下のように表記する。

〈和文〉

- ・ 単著：著者（発行年）『書名（副題含む）』出版社。
- ・ 編著：編者編（発行年）『書名（副題含む）』出版社
- ・ 翻訳書：著者，訳者（発行年）『書名（副題含む）』出版社。
- ・ 論文：著者（発行年）「題名（副題含む）」発行者『掲載誌』号数，頁番号。
- ・ 分担執筆：著者（発行年）「題名（副題含む）」編者編『書名（副題含む）』出版社，頁番号。
- ・ ウェブサイト：「サイト名」ウェブサイトアドレス（最終閲覧日）
- ・ 報告書（科研など）：〇〇助成金成果報告書（発行年）『書名（副題含む）』（代表者名・所属）

〈欧文〉

- ・ 書籍

例 1 : Banks, J. A. (2009). *Teaching strategies for ethnic studies* (8th Ed). Boston. Allyn and Bacon.

例 2 : McDonald, M. (2012). Social Justice Teacher Education. In J. A. Banks (Ed.), *Encyclopedia of Diversity in Education*. Thousand Oaks, CA: Sage, pp.2002-2005.

例3 : Goodman, D. J. (2011). *Promoting Diversity and Social Justice: Educating People from Privileged Groups*. 2nd Ed. New York: Routledge. (ダイアン・グッドマン, 出口真紀子監訳, 田辺希久子訳 (2017) 『真のダイバーシティをめざして—特権に無自覚なマジョリティのための社会的公正教育—』上智大学出版)

・論文

例 : Sleeter, C. E. (2018). Multicultural Education Past, Present, and Future: Struggles for Dialog and Power-Sharing. *International Journal of Multicultural Education*. 20.1, pp.5-20.

- ・ウェブサイト : 「サイト名」ウェブサイトアドレス (最終閲覧日)
- ・洋数字の使用 (1桁数字は全角文字, 2桁以上は半角文字)。
- ・人名は, 日本人の表記は名字のみ, 外国人の表記は初出時に欧文を入れる (例: バンクス (J. A. Banks))。
- ・欧文タイトル・欧文著者名は欧文半角文字を使用する。
- ・年号は西暦表示とする。必要であれば, 元号の併用可 (例: 2020 (令和2) 年)。
- ・図のタイトルは下に, 表のタイトルは上に表記する。
- ・図表にはナンバーを振る。(例: 図1, 表1)
- ・図表は, 括弧書きにて出典を明記する。
- ・節, 項目のナンバリングは, 以下のルールとする。

節 : 数字: 1. 2. 3.

項 : (半角数字):(1) (2) (3).....

半角数字) : 1) 2) 3).....

○付数字 : ①②③.....

(半角小文字アアルファベット) : (a) (b) (c).....